



全国の販売店様をご紹介

No.193

ねんどのお店だより 2024年2月号

自然村



こんにちは、自然村です。1998年創業、東京都練馬区の西武新宿線武蔵関駅からほど近く、夫婦2人で自然食品店を営んでいます。

当時、仙台でカタツムリ社という出版社とグリーンピースという自然食品店を営む加藤哲夫さんという方が、エコロジー事業研究会（エコ研）を主宰していました。パソコンやネット環境のない時代でした。全国に散らばったエコロジカルな事業の人たちが手書き・ワープロの店便りを仙台に送り、それをまとめて会員に発送する。時に某所に集まり勉強会をしていました。そのエコ研にボディクレイさんも参加していらっしゃいました。当時、粘土のスキンケア商品は随分と変わっていて、しかもなんだか最先端なお洒落感もあり、自然村開店当初から取り扱いを始めました。

店の歩みは細々とした道を歩んできましたが、時々大きな変化変革をしてきました。「食品の裏側」の著者、安部司氏の講演を聞いたことを機に、人工的なうま味調味料の入った食品の販売を止めました。そうすることで、「鯉節のタイコウ」、「こんぶの土居」、「やまくに」という良質な出汁材料の生産者や販売者さんから多くを学ぶことができました。



野菜の種のことを学び、固定種・自家採種する農家を捜してあちこち回りました。当初は、自然な種に目が向いていました。しかし、在来の野菜の種を採り続ける雲仙の岩崎政利さんや、お米の多様性を守る上野長一さんに出会うことで、種採り作物に感じる気持ちが変わりました。安全性・自然と不自然・農法という狭い枠にとどまらない、もっと楽しくワクワクする人と自然の関係性、作物から与えられる感性、ロマンある農の景色、それらが現在の店の骨格になっています。

この夏来、私は肌の手入りに目覚めて、「ねんどのパック」を入浴時に使い続けたところ、なにか空気伝染したかのように、お客様がそれぞれのアイテムに関心を持って使ってくださいようになりました。若いお嬢さんは「ねんどのソープ」を気に入って姉妹で使ってくださいしています。初孫がお生まれになった方は沐浴に「ねんどの入浴剤」を、そして、肌に合うものを捜して、お試しサイズの「ねんどのミルクイローション」を手取る方など、様々なニーズで選んでいただいていることを実感しています。



一つの商品でも、その人の暮らし方や動機で、求め方や活かされ方が違います。当たり前のことが日常で明らかに展開して行く中で私は学びました。溢れるほどの物質に囲まれた世の中から、縁あって店に並んだ品々をより大切に、その価値をもっと見出してお客様と共有しあえたらと思います。お近くにお越しの時にはどうぞ店を覗いてみてください。

店主 吉村



自然村

〒177-0051
練馬区関町北2-33-12
TEL : 03-5927-7787
FAX : 03-5927-7880
mail : tane@sizenmura.jp

Instagram

